



● イギリス

認知症のコスト研究 (DEMENTIA 2010) 発表 アルツハイマー・リサーチ・トラスト、オックスフォード大学

本年2月に、アルツハイマー・リサーチ・トラストがオックスフォード大学医療経済研究センターに委託した研究の成果「認知症2010—イギリスにおける認知症の社会的負担および関連研究費」が発表された。

調査は政府系諸機関の協力を得て行われ、2008年度の認知症による経済的負担を試算している。

社会的なコストの総計は右上表のとおりで、仮に1ポンドを150円で計算すると3兆4,000億円に達する。

イギリスの認知症患者は、82万1,884人とされている。これは人口の1.3%にあたり、そのうち37%が長期介護施設にあり、90億ポンド以上のコストがかかっている。

医療コストの合計は約12億ポンドであり、そのうちの44%が入院コストである。

インフォーマルケアについては、約15億時間が無給介護として行われており、これは約120億ポンドに相当する。この場合の機会コストは介護がなかった場合に得られるであろう金額である。

死亡あるいは罹病による生産力のロスは、認知症に起因する本人の収入ロス分である。

また、疾病別の研究費についての研究によると(右下表)、疾病による社会的コストと投入されている研究費との間には整合性がないように思われる。報告書では「認知症と脳卒中については、がんと冠動脈疾患と比較した場合に、はなはだしい研究費投入の不足がある」と指摘している。

そして、アルツハイマー・リサーチ・トラストの代表である、Rebecca Wood氏は、「認知症の研究に適正な研究費を投入すれば、私たち科学者の可能性を最大限に引き出すことができるだろう。いま数百万ポンドを投入することが、将来何十億ポンドもの介護費用の節約につながるのだ。

最も重要なことは、私たちはこれらの統計が本当に表わしていること、つまり何十万もの苦しい人生と何百万もの家族や友人の失われた可能性を忘れてはならないということだ」と述べている。

<http://www.dementia2010.org/>

イギリスにおける認知症のコスト(年間)

資源	内容	全コスト (1,000ポンド)
医療		
プライマリケア	訪問看護	64,798
	訪問看護手術	1,681
	GP 往診	206,889
	GP 往診手術	41,803
	GP 電話往診	1,847
	計	317,017
緊急救命室	付き添い	26,737
外来	付き添い	55,044
入院	泊まり	462,590
	日帰り	576
薬剤		228,399
プライベートケア	医療支出中のプライベートケア	109,469
医療小計		1,199,832
ソーシャルケア		
長期介護	長期介護施設	9,091,177
ソーシャルケア小計		9,091,177
医療、ソーシャルケア以外		
インフォーマルケア	労働力である介護者による介護	6,671,816
	労働力ではない介護者による介護	5,710,736
死亡関連	労働損失(男性)	22,515
	労働損失(女性)	5,994
罹病関連	就労不能認定期間損失	16,743
	労働損失	4,001
ヘルスケア、ソーシャルケア以外小計		12,431,804
経済損失総計		22,722,813

*約3兆4,000億円(1ポンド150円として)

疾病別総コストと研究費

疾病	医療、 ソーシャルケアコスト (100万ポンド)	研究費 寄付・政府計 (1,000ポンド)
認知症	22,723	50,244 (6%)
がん	11,998	590,411 (71%)
冠動脈疾患	7,848	169,260 (20%)
脳卒中	4,997	23,355 (3%)